

“キンボール”って楽しいよ 冬季親子スポーツ大会に集う

青少年部会は、各地区育成会・PTAとともに2月24日に「冬季親子スポーツ大会」としてキンボール大会を若槻コミュニティ体育館で開催した。

冬季は家に閉じこもりがちになるが親子で楽しみながら汗をかいてもらおうとの狙い。

キンボール (KIN-BALL) は、1986年にカナダ発祥の屋内球技で、直径122センチの軽く大きなボールを使い、床に落とさないようにするゲーム。チーム全員の協力が必要なため、一体感を味わうことができ協調性を養う事ができる。この日は約45人の親子らが参加し、ピンク、グレー、ブラックの3チームに分かれ、「オムニキン ブラック!!」などと大きな声で掛け声を出し、汗を流した。

ほとんどの参加者はキンボールをするのは初めてだという。スポーツ推進委員からルールや競技内容を丁寧に教えてもらった。参加者からは、「親子で楽しめてよかった」「こんなに楽しいスポーツだとは思わなかった」と喜びの声があがった。

大会のあと、稲田子どもリーダー会が自主的に掃除を行い、地域活動を通して子どもたちが成長する一端がみられた。



サーブ「オムニキン ピンク!!」

コミュニティ・レポート 13

長野冬季五輪に強い関心

稲田区育成会は、2月16日、稲田公民館で「長野冬季五輪15周年記念イベント」と「若槻ふるさと発見カルタ大会」を開いた。

15年前に開催された長野オリンピックを知ってもらおうと、地元の小学生に集ってもらい、冬季五輪のビデオ鑑賞や当時ボランティアとして活動した地元の江守政治さんの話を聞いた。小学生らは、生まれる前の身近な出来事に関心を寄せた。

長野オリンピックから続いている徳間小学校の各校一校一校運動「ルーマニアとの交流」の原点を知り、昨年ルーマニアを訪問した樋口歩香さん(6年生)や小島夕さん(6年生)が一校一校運動を続けるべきだとの意見があった。

そのあと、参加者全員が若槻ふるさと発見カルタ(大判)を使ったカルタ取り大会を楽しんだ。カルタに描かれている絵は、地元の名所旧跡のため「この神社を知っている!!」「この旧跡に行ったことがある」とカルタを取る手にも力がこもる。カルタを取るたび「やった」「取った」と歓声。会長から名所旧跡の説明を受け、“ふるさと若槻”を楽しみながら再発見できた。



若槻ふるさと発見カルタ取り

～ご利用ください～

庁舎東側に駐車場を拡充

4月から、若槻コミュニティセンターの東側(以前借用し、利用していた場所)に、再び駐車場が確保できました。この駐車場も市教委や地主様のご理解、住民自治協議会の尽力によるものです。北側と併せて2ヶ所の駐車場ができ、駐車場難の解消が期待されます。

(市立若槻公民館から)

